

新たなマレーシア人材育成事業（MJHEP）が
始まっています

マレーシアでは HELP（*1）により、産業の高度化が進む同国の発展に貢献する人材育成を目的とした留学生派遣プログラムが行われてきました。平成 17（2005）年より開始された第 3 期事業（HELPⅢ）では、進化したツイニングプログラムとして実施されましたが、平成 25（2013）年をもって現地教育は終了しました。

これに代わる新たな後継プログラムとして、HELP を原形としたマレーシア政府資金による留学生派遣事業 MJHEP（Malaysia Japan Higher Education Program：マレーシア日本高等教育プログラム）が開始されることとなりました。既に、平成 23（2011）年 8 月より、クアラルンプール市近郊ブラナンにある UniKL（クアラルンプール大学）において現地教育が進められており、平成 25（2013）年 3 月には、現地教育機関（マラ教育財団：Yayasan Pelajaran MARA）の正式なパートナーとして日本国際教育大学連合（JUCTe）との間で覚書が取り交わされました。

平成 25（2013）年 11 月には、現地マレーシアにおいて、JUCTe の 13 大学と新規参加の国公立 7 大学の合計 20 大学の編入学試験が実施されました。受験者は機械系と電気電子系を合わせた計 54 名で、平成 26（2014）年 4 月には、受け入れ大学に入学する予定となっています。

《JUCTe の 13 大学》

国立大学：埼玉大学、長岡技術科学大学、山口大学

私立大学：岡山理科大学、近畿大学、芝浦工業大学、拓殖大学、東海大学、
東京工科大学、東京電機大学、東京理科大学、明治大学、立命館大学

《新規参加の国公立大学》

国立大学：愛媛大学、九州工業大学、熊本大学、豊橋技術科学大学、福井大学、
室蘭工業大学

公立大学：兵庫県立大学

*HELP（Higher Education Loan Fund Project：高等教育基金借款事業）は、マレーシア政府が日本の円借款資金で実施する留学生派遣事業で、産業の高度化が進む同国の発展に貢献する人材育成を目的に、日本の大学の理工系学部及び大学院修士課程に留学生を派遣するプログラムである。日本語中心の予備教育 1 年間＋日本の大学カリキュラムに基づく工学系大学教育 2 年間でマレーシアで行った後、日本の大学 3 年次に編入させる第 3 期事業（HELPⅢ）は、平成 17（2005）年より開始された。

【現地における編入学試験の様子】 2013.11.23

